



NPO法人
ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン



入会・寄附のご案内
Himalaya Archive Japan
Admission Guide

【ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン 連絡・入会申込み先】

(受付事務所)

〒214-0037 神奈川県川崎市多摩区西生田3-20-25-A201

TEL: 044-955-8678

FAX: 044-955-8678

E-mail: haj@himalaya-japan.net

(「オンライン入会・寄附フォーム」有り)

<http://www.himalaya-japan.net>



Himalaya Archive Japan

入会金・年会費・寄附をお振込みくださる場合は、下記口座をお願いいたします。

ジャパンネット銀行 (0033) 本店営業部 (001)
普通預金 口座番号 1367191
口座名義 トクヒ) ヒマラヤアーカイブジャパン

三菱東京UFJ 銀行 (0005) 町田駅前支店 (623)
普通預金 口座番号 4772676
口座名義 ヒマラヤ アーカイブ ジャパン

■ ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン(Himalaya Archive Japan)

「ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン/The Himalaya Archive Japan (H.A.J)」は、「地球を考える ヒマラヤから考える」をコンセプトに平成18年より任意団体として活動を開始し、平成20年12月、NPO法人(特定非営利活動法人)として認証を受けました。世界各国の映像作家、ジャーナリスト、専門家たち、またオランダのNGO「ヒマラヤ・アーカイブ・ネーデルランド」と連携協力し、「ヒマラヤ国際映画祭」プロジェクトを核として、環境・文化・人権に関する幅広い分野での映像を使用した啓蒙活動、アジアの映像作家の支援を柱とする国際協力、ヒマラヤ地域の環境並びにガンジーの「非暴力」思想を含むヒマラヤの精神文化の今日的意義についての映像調査研究など諸活動を行なっています。

■ なぜ ヒマラヤなのか

21世紀に入り地球規模の様々な問題が後々にのしかかっています。経済優先の環境破壊による地球温暖化、国家のエゴや宗教観などの相違に起因する国家・地域及び宗教・民族紛争、富の偏った偏在に象徴される経済のグローバル化など、これらは我々が地球市民として共に考えていかねばならない課題です。現代社会が直面するこの深刻な諸課題が凝縮された「地」があります。古来「神々の座と称われ、世界遺産にも登録されて



いる、多様な主題・民族系、深遠な文化を誇る地球の宝庫「ヒマラヤ」です。ヒマラヤは、東西2400キロ、南北300キロ以上に及ぶ日本本土がすっぽりと収まってしまう広大な山脈(地域)。ブータン・中国・チベット・ネパール・インド・パキスタンの国々・地域を貫いています。ヒマラヤを重視すると、「異国・開発」「民族・宗教」「人権・平和」「環境破壊・地球温暖化」など、「病んだ地球」の今の姿が見えてきます。

■ ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパンの理念・目標・行動指針

ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン(H.A.J)はヒマラヤの大自然と深い精神文化とが持つメッセージを通して、人類が自然と調和し、人間同士が調和して生かされる未来を創造することを理念(ビジョン)に掲げています。その実現のために、「ヒマラヤ」を舞台に以下の目標と行動指針とを定めています。

(目標)

- ヒマラヤの自然、社会(人間)環境の改善への寄与
- 様々なジャンルのヒマラヤ地域情報の提供
- アジア人監督の制作環境のサポート

(行動指針)

- 「地球市民」として異なる人種、民族、文化を尊重し、その調和に尽くす
- 如何なる問題もタブーとせず追求する
- 他の団体・企業・地域社会とのパートナーシップ構築に努め、H.A.Jの有用性を向上させる
- その運営に当たり、費用対効果を考慮し、説明責任基準に沿い、会費・寄付金・助成金を活用する



■ ヒマラヤの映像を通じて、地球市民へ

ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン(H.A.J)は、ヒマラヤ地域の住人、ヒマラヤを愛する世界の人々、そして日本人が共に



「ヒマラヤ」が発するメッセージに耳を傾け、その課題に取り組みしていく必要があると考えています。H.A.Jの役割は、そのメッセージを主に映像を通じて伝えることで人々を繋ぎ、課題克服のための具体的なアクションへと導くことにあります。役割の遂行には、ビジョンを共有する会員やサポーターの方々の温かなご支援、ご協力が不可欠なことは言うまでもございません。「ヒマラヤ」が陥み一つのチームとして、ビジョンの実現を目指して共に活動していければ大変嬉しく存じます。

NPO法人ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン

<入会・寄附申込み書>

※必ずご記入下さい

年 月 日

※ 会員種別	正会員（個人・団体） 賛助会員（個人・団体） 寄附		
※ フリガナ			性別
※ お名前	種	男・女	
団体(会社)名 <small>(団体でお申込の場合)</small>			
所属部署	役職		
※ ご住所			
※ 電話番号			
携帯電話番号			
FAX番号			
ホームページ アドレス			
メールアドレス			
連絡事項			

・入会金、年会費計 _____ 円を添えて入会を申し込みます。

HAJ会員システム

	入会金	年会費
正会員（個人・団体）	5,000円（税込）	5,000円（税込）
賛助会員（個人）	3,000円（税込）	3,000円（税込）
賛助会員（団体）	10,000円（税込）	30,000円（税込）
寄 附	任 意	

<ごあいさつ：理事長 田中邦彦>

ヒマラヤには20年ほど前の旅で初めて訪れました。子供たちの輝く笑顔、雪峰に一心に祈りを捧げる女性、月光に浮かび上がったチョモランマ（エベレスト）など、感嘆らしき思い出は今でも鮮明に蘇ります。その後、ヒマラヤに関わる中で「チベット問題」を知り、チベット難民のドキュメンタリーを制作することになりました。幸いにも、各国の映画祭で上映され、2004年にはアムステルダムの「Himalaya Film Festival（ヒマラヤ国際映画祭）」に招待。その映画祭の主催者の「思い」に共感したのが縁で、以降、日本で同映画祭を開催しています。「ヒマラヤと日本のつながり」を理解して、環境問題を他人事ではないと考え始めた。「自分に出発することは何か？」など映画祭の反響に、私は大きな希望を見出しています。誰もが容易に撮影することなど不可能な過酷な環境のヒマラヤ地域の映画を世界中の映像作家から厳選し集め、それを日本人が観られるようにする作業（字幕など）は非常に困難が伴います。しかし、今後もHAJとして積極的に収集、発信したいと考えます。そして、深遠なる「神々の国」ヒマラヤが美しくあり続けるよう諸活動を続けて参ります。皆様方の益かなご協力、ご支援を改めてお願いする次第です。